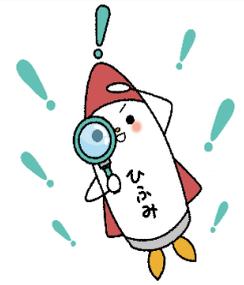


### ひふみワールド 月次ご報告書

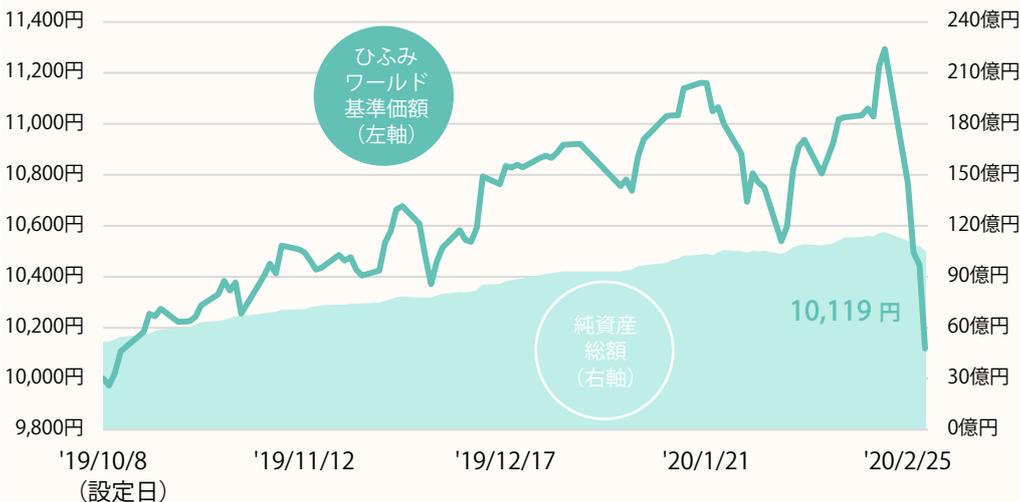
追加型投信/海外/株式

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ  
資産形成のパートナーに「ひふみワールド」をお選びいただき、ありがとうございます。  
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



#### 運用実績

##### 基準価額等の推移（日次）



作成基準日：2020年2月28日

※当レポートで言う基準価額とは「ひふみワールド」の一万口あたりの値段のことです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第二位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は1,000万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※「ひふみワールド」は、ひふみワールドマザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は「株式・投資証券」「為替」や「基準価額変動額」と合わない場合があります。「株式・投資証券」のうち、米国には米ドル建て、欧州にはユーロ、イギリス・ポンド、スウェーデン・クローナ建て、アジア・オセアニアには香港ドル建て等の株式・投資証券が含まれます。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

#### 運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみワールド	-5.9%	-5.2%	-	-	-	1.2%

#### ひふみワールドの運用状況

基準価額	10,119円
純資産総額	104.4億円
受益権総口数	10,324,016,625口

#### ひふみワールド 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	100.3%
現金等	-0.3%
合計	100.0%

#### 分配の推移（1万口当たり、税引前）

期	2020年2月	0円
第1期	2020年2月	0円
第2期	-	-
第3期	-	-
第4期	-	-
第5期	-	-
第6期	-	-
設定来合計		0円

#### 基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次） -631円

〔内訳〕

株式・投資証券	-638円
米国	-568円
欧州	-110円
アジア・オセアニア	+39円
その他	+0円
為替	+25円
米ドル	+31円
ユーロ	+1円
香港ドル	+1円
その他	-7円
信託報酬・その他	-18円

## 資産配分比率などの状況

### ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額 610.2億円

組み入れ銘柄数 89銘柄

#### 資産配分比率

海外株式 77.3%

投資証券 1.0%

現金等 21.8%

合計 100.0%

#### 時価総額別比率

10兆円以上 16.7%

1兆円以上10兆円未満 40.9%

3,000億円以上1兆円未満 15.7%

3,000億円未満 5.0%

#### 組み入れ上位10カ国 比率

1 アメリカ 47.8%

2 フランス 6.8%

3 中国 5.7%

4 イギリス 3.9%

5 ドイツ 2.4%

6 カナダ 2.2%

7 アイルランド 1.6%

8 香港 1.6%

9 スウェーデン 1.3%

10 台湾 1.3%

#### 組み入れ上位10通貨 比率

1 米ドル 55.6%

2 ユーロ 10.6%

3 香港ドル 6.4%

4 イギリス・ポンド 2.3%

5 オーストラリア・ドル 1.6%

6 スウェーデン・クローナ 1.3%

7 フィリピン・ペソ 0.4%

8 - -

9 - -

10 - -

#### 組み入れ上位10業種 比率

1 ソフトウェア・サービス 12.9%

2 各種金融 10.4%

3 資本財 10.2%

4 消費者サービス 6.9%

5 メディア・娯楽 6.8%

6 半導体・半導体製造装置 6.5%

7 小売 3.8%

8 耐久消費財・アパレル 2.8%

9 エネルギー 2.5%

10 自動車・自動車部品 2.4%

※「資産配分比率」「時価総額別比率」「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10通貨比率」「組み入れ上位10業種比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「時価総額別比率」は基準日時点のBloombergの情報を元に作成しております。

※「組み入れ上位10カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれません。

※「組み入れ上位10業種比率」は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

## 銘柄紹介（基準日時点の組入比率1～10位）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
		銘柄紹介			
1	TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE, INC. 	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	1.8%
2	BROOKFIELD ASSET MANAGEMENT INC. 	カナダ	米ドル	各種金融	1.8%
3	SAP SE 	ドイツ	ユーロ	ソフトウェア・サービス	1.7%
4	INTUITIVE SURGICAL, INC. 	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	1.7%
5	MOTOROLA SOLUTIONS, INC. 	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.7%
6	FAURECIA 	フランス	ユーロ	自動車・自動車部品	1.7%
7	SNAP-ON INCORPORATED 	アメリカ	米ドル	資本財	1.7%
8	ACCENTURE PLC-CL A 	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.6%
9	MACQUARIE GROUP LIMITED 	イギリス	オーストラリア・ドル	各種金融	1.6%
10	TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED 	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.6%

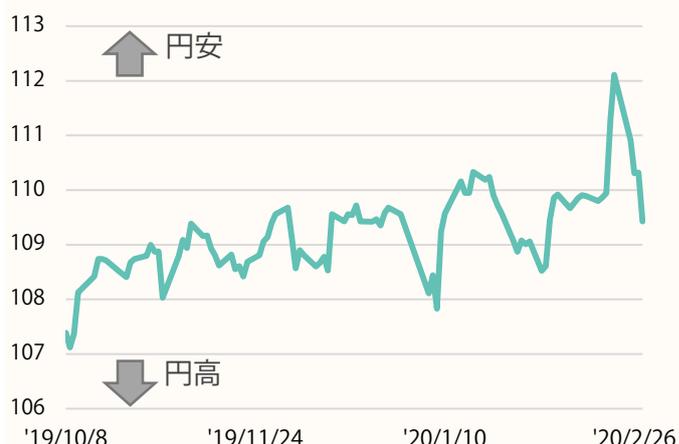
※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。  
 ※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に基づいて表示しています。  
 ※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

MSCI ACWI ex JAPAN(配当込み)(米ドルベース)の推移



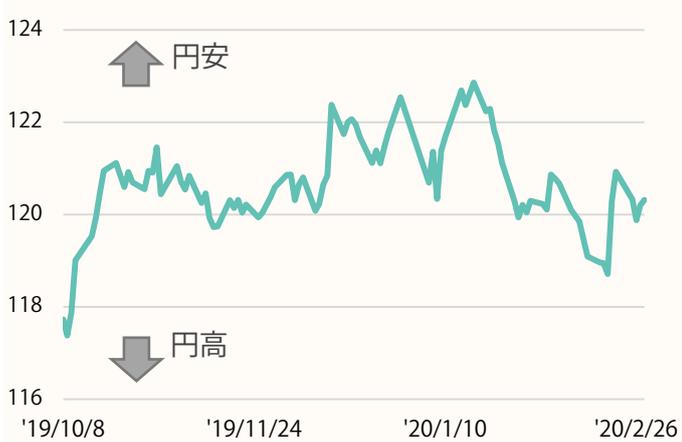
当月騰落率 -7.6%

米ドル/円の推移



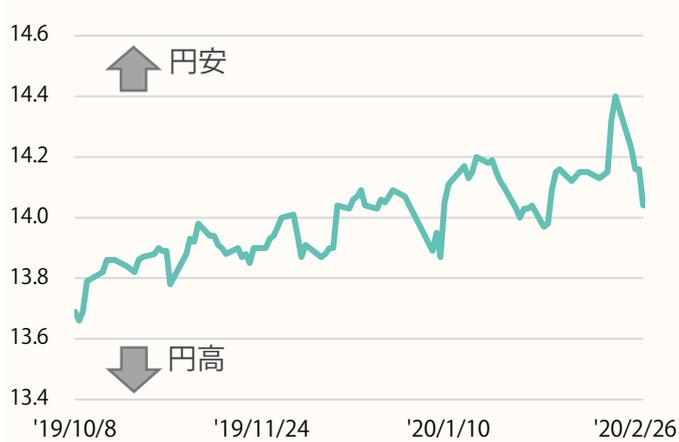
当月騰落率 +0.3%

ユーロ/円の推移



当月騰落率 +0.0%

香港ドル/円の推移



当月騰落率 0.0%

※MSCI ACWI ex JAPAN (配当込み) はBloombergのデータを元に作成しております。なお、MSCI ACWI ex JAPANの当月騰落率は、基準価額への反映を考慮して、月末前営業日の指数値を基に算出しております。

※MSCI ACWI ex JAPANは当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは配当込みで、米ドルベースです。

MSCI ACWI ex JAPANは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

※為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。

## 新型コロナウイルス警戒 現金比率高め維持

実体経済への影響 市場はまだ織り込みきれず

2月の世界株式市場は、新型コロナウイルスの影響がアジアから欧米まで広がり、発生元の中国・アジア市場が大きく下落、半月程度の時間差で欧米市場が下落しました。ひふみワールドは、新型コロナウイルスの影響が伝播し始めるなか、それまでの慎重な投資・運用姿勢を維持し、純資産総額における現金比率を高位に保ちましたが、市場下落の影響は大きく、5.9%の下落となりました。また、2月末の現金比率は20%程度となっています。

トランプ大統領は2月27日、同ウイルス対策費として25億ドルの緊急予算を決定しましたが、米国内でのパンデミックリスクと株式市場に与える影響を計りかねる投資家の不安はぬぐえず、ダウ平均株価は同日、過去最大となる1,190.95ドル下落し、昨年8月以来の26,000ドル台へと下落しました。為替市場は、日本株の下落を反映しドル円が急騰する局面がありましたが、米国株式市場が大きく下落し、緊急的な金利引き下げの必要性を意識すると一転急落し、ドル円は前月末と変わらない水準で引けました。米国市場は、金融当局対応があるとの観測から3月に入り大幅リバウンドしましたが、ニューヨークでもイランからの帰国者がウイルス感染していたことが発覚し、感染者数が拡大した場合の経済活動に与える影響はまだ織り込んでいないと思われます。

基準価額が大幅に下落し、みなさまにご心配をおかけしていますが、このような環境下、当社でもテレワークに利用しているZOOM（ビデオカンファレンス）、電話等を利用し企業調査を継続し、明るい未来を想像しつつ、現在の出来ることに全力を傾注して参ります。今後もひふみワールドをよろしくお願ひします。



取締役運用本部長  
ひふみワールド運用責任者  
湯浅 光裕

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみワールドマザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみワールドマザーファンド」のことを「ひふみワールド」と略する場合があります。

## 中国本土以外で新型コロナウイルスの感染拡大、世界株安連鎖 感染拡大ペースの鈍化がみえてくれば、上昇相場に復帰か

世界株式市場は1月下旬以降、中国・武漢発の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を嫌気する形で連鎖安になりました。第一波は発生源の中国で春節期間（1月24日～2月2日）に、第二波として2月半ば以降日本など中国の周辺国に波及し、第三波として欧米株が2月末にかけて急落しました。新型コロナウイルスの感染拡大が経済・企業収益の急落⇒株安や資金循環の萎縮⇒一段の経済・企業収益の悪化⇒株安・・・という悪循環に対する不安や懸念が連鎖安を招いたとみられます。株価急落や世界経済の減速懸念を受けて、主要先進7カ国（G7）は金融・財政政策面で協調行動を探る方向とみられます。

実際、米国のFRB（連邦準備理事会）は3月3日に臨時のFOMC（連邦公開市場委員会）を開催し、市場安定のため政策金利（FFレート）を0.5%と大幅に引き下げました。米国においても新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、FRBは株安や景気不安を抑えるため、追加利下げも辞さない姿勢を明示しました。主要国の金融政策面ではECB（欧州中央銀行）の理事会が3月12日、FOMCが3月17～18日、日銀の金融政策決定会合が3月18～19日に開催予定ですが、協調的な金融緩和策が打ち出されそうです。

一方、今回の世界的な株安連鎖の主因は新型コロナウイルスの感染拡大にあるとみられます。中国株の動きをみますと、現感染者数（＝累計感染者数－同死亡者数－同回復者数）が2月18日前後をピークに減少に転じましたが、中国株価指数もほぼ歩調を合わせるように底入れから回復基調になりました。2月末に発表された中国の2月のPMI製造や同非製造指数はリーマンショック時を上回る落ち込みとなり、過去最低を更新しましたし、今後、経済指標や企業収益の悪化報道は増えるでしょう。しかし、中国株価はこれらよりも新型コロナの感染拡大ペースとの連動性が強そうです。

日本や欧米など主要国株価の先行きを占う上で、当該国・地域の新型コロナ感染者数の増加ペースがいつ頃ピークアウトするかがカギを握ると推察されます。ピークアウトならば株価の底値確認・回復の色彩が強まるでしょう。一方で、感染拡大が加速化ならば株価の再下落リスクが高まるとみられます。中国本土以外の国では感染者数が、加速化の様相ですが、感染拡大を防止するため人の移動制限をはじめ臨戦態勢に入りつつあります。

市場にとって新型コロナの感染拡大は目下の最大の懸念材料ですが、総じて短期的な波乱要因と推察されます。これによって世界経済の需要が消失するのではなく、ほとんどが需要の先送りとみられます。2020年代前半に見込まれる技術革新の大波到来のシナリオも基本変わらないと予想されます。また、米国をはじめ主要各国の金融緩和策は、新型コロナ禍の終息後も、実体経済や企業収益の悪化が1～2四半期継続する可能性が高く、すぐに引き締め策に転換できないでしょう（超金融緩和の長期化）。こうした金融緩和政策は株価の下値を限定的にさせる一方、上値余地を拡大させると推察されます。波乱局面にある主要国株式市場ですが、中長期でみれば投資好機にあるのかもわかりません。

（3月4日）



運用本部  
経済調査室長  
三宅 一弘

## セミナー中止のお知らせ お客様の安全考慮

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、お客様の安全確保の観点から、当社で開催するセミナーおよび当社主催のセミナーを当面の間、中止させていただきます。一部セミナーは動画配信いたします。

詳細は右下のバナーをクリックいただくか、当社ホームページのセミナーページをご覧ください。動画配信予定のセミナーについては、視聴の申込みができます。中止予定のセミナーには取り消し線を行っています。何卒ご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

クリックでひふみセミナーページへ

## 動画配信のお知らせ

レオス・キャピタルワークスの公式YouTubeでは、当社が運用・販売する投資信託「ひふみ投信」「ひふみワールド」などに関する動画を投稿しております。

レオス・キャピタルワークス  
公式YouTube QRコード



ひふみの運用について報告を行なうセミナー「ひふみアカデミー」、当社トレーダーが当日の相場動向について2分程度で解説する「レオスの市況解説」、当社経済調査室長の三宅がマクロの視点から経済動向を解説する「三宅の目」、当社の経営理念などを説明する「レオスコンセプトムービー」など多様な動画シリーズを展開しております。

チャンネル登録をしていただくと、動画更新情報をリアルタイムで受け取ることができます。ぜひ登録の上、ご視聴ください！

## ひふみアカデミー

### ひふみアカデミー（月次運用報告会）



ひふみ投信、ひふみワールドの運用についてご報告するとともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明いたします。前半でひふみ投信、後半でひふみワールドをお伝えします。投資信託の運用状況について知りたいという方はもちろん、経済環境や株式市場について勉強したい、この先の経済見通しを知りたい方にお勧めのセミナーです。

### 【当日のスケジュール】

19:00～19:30 ひふみ投信の運用報告  
19:30～19:50 ひふみワールドの運用報告  
19:50～20:30 FAQ

※当社で「ひふみ投信」「ひふみワールド」を口座をお持ちの方にYouTubeにて限定配信いたします。ひふみ投信をお持ちのお客様全員に視聴用URLをメールアドレスにお送りいたしますので、ご確認ください。当社で口座をお持ちでない方は、後日配信する動画をご覧ください。※リアルタイムチャットによるご質問も受け付けます。その際、あらかじめYouTubeアカウント登録・ログインが必要となります。

セミナー名	配信日時	開催場所	備考
ひふみアカデミー	3月10日(火) 19:00～20:30	YouTube (ライブ配信)	「ひふみ投信」または「ひふみワールド」を保有の方に限定配信URL送付

## 様々な動画の配信を予定しております

タイトル	公開予定日
ひふみアニュアルミーティング2019 アナリストセミナー「アジアを基点に考える2020年代の株式投資戦略」	3月13日(金)
ひふみアニュアルミーティング2019 アナリストセミナー「令和の時代に株式市場の主役を飾る企業」	3月13日(金)
三宅の目	3月17日(火)
ひふみアニュアルミーティング2019 アナリストセミナー「世界で急拡大するESG投資って何？」	3月20日(金)
ひふみアニュアルミーティング2019 アナリストセミナー「ひふみ流、グローバルマーケットでの戦い方」	3月20日(金)
三宅の目 増刊号	3月24日(火)
ひふみアニュアルミーティング2019 アナリストセミナー「超過収益を得るために僕らがやっていること」	3月27日(金)
ひふみアニュアルミーティング2019 アナリストセミナー「わたしとひふみ」	3月27日(金)
三宅の目	3月31日(火)

## 緊急配信 新型コロナウイルスと株式市場 当社経済調査室長が8分半の動画で解説

当社経済調査室長の三宅一弘が、新型コロナウイルスに揺れる株式市場の今後の見通しについて8分半の動画で解説します。36年間、株式市場を見続けてきたベテランは今の相場をどう分析しているのか。

下の「動画視聴」のバナーをクリックするか、YouTubeで「三宅の目」と検索してください。



[動画視聴>>](#)

## 当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり金利や相場等の変動により、元本欠損が生じる可能性があります。預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありませんが、証券会社を通じてご購入いただいた場合は投資者保護基金の保護対象となります。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

## ひふみワールドの特色

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## 投資リスク

### ■ 基準価額の変動要因

- マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預金等とは異なります。

### ■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

**株 価 変 動  
リ ス ク** 国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります。

**流 動 性  
リ ス ク** 有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

**信 用  
リ ス ク** 有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となることを信用リスクといいます。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。

**為 替 変 動  
リ ス ク** 外貨建資産については、当該通貨の円に対する為替変動の影響を受け、組入外貨建資産について、当該通貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、基準価額が下落する要因となり、損失が生じる可能性があります。

**カントリー  
リスク（エ  
マージング  
市場に関わ  
るリスク）** 当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、基準価額が大きく変動するリスクがあります。なお、エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因（投資リスク）は上記に限定されるものではありません。

## 収益分配金の仕組みについて

- 収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。
- 収益分配金支払い後の基準価額が、そのお客様（受益者）の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、当該収益分配金の全額が「普通分配金」となります。普通分配金は、配当所得として課税対象になります。
- 収益分配金支払い後の基準価額がそのお客様（受益者）の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となります。当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額は普通分配金となります。

元本払戻金（特別分配金）は、実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、非課税扱いとなります。お客様が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、その後の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

## お申込メモ

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）
商品分類	追加型投信／海外／株式	追加型投信／内外／株式
当初設定日	2019年10月8日	2008年10月1日
信託期間	無期限	
決算日	毎年2月15日（休業日の場合、翌営業日）	毎年9月30日（休業日の場合、翌営業日）
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行ないます。 分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。	
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。	
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）	
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。	
換金（解約）単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。	
換金価額	解約の請求受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）	
換金代金	請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの	—
申込受付不可日	休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。	
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。	
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。	

## お客様にご負担いただく費用

- ◇ 直接ご負担いただく費用 : ありません。  
申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。  
なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。
- ◇ 間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）
運用管理費用 （信託報酬）	信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率1.628%</b> (税込) の率を乗じて得た額 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。	信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率1.078%</b> (税込) の率を乗じて得た額
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055% (税込) の率を乗じて得た額。（なお、上限を年間99万円 (税込) とします。）	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055% (税込) の率を乗じて得た額。（なお、上限を年間88万円 (税込) とします。）
その他費用 ・手数料	当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。 日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。	

## ファンドの関係法人

委託会社： レオス・キャピタルワークス株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社： (ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社  
 (ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社

販売会社： レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先  
**レオス・キャピタルワークス株式会社**  
 コミュニケーション・センター  
 電話：03-6266-0123（受付時間：営業日の9時～17時）  
 メール：cc@rheos.jp

